



# かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより夏休み号  
平成 20 年 7 月 17 日  
横浜市立川島小学校  
校長 小池 慎一  
TEL 3 7 1-0 7 5 7  
FAX 3 8 1-7 2 4 8

## アサガオのように

がっこうちょう こいけ しんいち  
学校長 小池 慎一

子どもたちが春にまいた種が、芽をだし、本葉をつけ、花が咲いています。  
一粒の小さな種が大きく育ち、花を咲かせたり、実をつけたりする様子を観察することで、  
自然の恵みの有り難さと、「生命」というものの不思議さや敬虔さを感じてくれれば・・・と思っています。

種が発芽・生長して花を咲かせ実をつけ、本体は枯れてしまうけれど、新しい種ができます。  
そうして次の年、また同じことを繰り返すのです。次の年も、そのまた次の年も。

一見すると単純な、そんな繰り返しの中に、生命をつなげていく自然の智慧というか生命の  
意味というべき何かがあるような気がしています。

さて、子どもたちが今年育てた花の一つであるアサガオに  
ついてのお話しです。

アサガオは、朝咲く花だと言われています。これまで私は  
なんとなく、朝明るくなるから咲き始めるのだろうぐらいに  
しか思っていませんでした。先日ある本を読んでいたら、  
アサガオの開花時刻は前日の日没後約 10 時間後だと書いて  
あって少々びっくりしました。

日没の時に、次の日の開花のためのスイッチが入り、ずっとタイマーが時を刻んで、一定時間  
が過ぎると、開花をはじめるといふ、生命のもつ不思議さに驚いたのです。

アサガオのような植物は動くことも、しゃべることもできません。けれども生命をつなげて  
いく最適な方法を知っています。最適な時刻に開花するための方法も知っています。

この自然の中で、自分たちの種を永続可能な形で存続させるための智慧をもっています。  
ひるがえって私たちは、どうなのでしょう。

7 月 19 日から夏休みです。長期の休みはどうしても生活のリズムが乱れがちになりますが、  
アサガオのように、自然にもとづいたリズムで、早寝早起きが続けてほしいと思っています。  
アサガオのように・・・。

